

令和6年度 朝来市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：7名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・認知症施策の組み立て、「脳耕会」の運営
 - ・認知症高齢者等総合支援事業
 - ・認知症ケアパスの活用と推進
 - ・認知症初期集中支援チームの運営と連携
 - ・認知症カフェの支援
 - ・認知症キャラバン活動の運営と支援
 - ・チームオレンジのによる本人、家族、地域のしくみづくり
 - ・認知症相談センターとの連携の強化
 - ・認知症の本人と家族の一体的支援プログラム事業

報告者氏名: 藤原 正浩、有馬 真紀、田路 遥

朝来市 認知症施策全体図

●認知症施策全般の検討と推進「脳耕会」

住み慣れた地域で安心して暮らし続ける共生社会の実現

認知症の人や介護者への支援を包括的に実施できる体制の充実

認知症相談の身近な窓口の周知
認知症サポーター養成講座
キッズサポーター養成講座
認知症チームオレンジの活動
あさごいきいき百歳体操

認知症初期集中支援チーム
認知症SOSネットワーク
認知症高齢者等GPS助成事業
個人賠償責任保険加入事業
認知症カフェの充実



認知症の本人と家族の一体的支援
プログラム事業



若年性認知症、軽度認知症の人と
家族への支援の充実



標題 認知症の人本人の社会参加・発信への支援

但馬長寿の郷の研修「認知症施策推進研修～1人の声を形にしてみよう～」の支援を受けて、実際に本人の声を実現するために関係機関で検討を行った

STEP1

認知症疾患医療センターから行政への情報提供の了解があった対象者を訪問し、本人の趣味ややりたいことを把握

【訪問者】

- ・但馬長寿の郷 作業療法士
- ・認知症疾患医療センター 精神保健福祉士(認知症地域支援推進員)
- ・地域包括支援センター 保健師(認知症地域支援推進員)

体を動かすことが好き。以前は夫と一緒にいたが、夫が行かなくなってから移動手段がなくなり行けなくなった。もう一度行きたい！

歌うことが好き。
コーラスをしていた。

編み物が好き。

毎週、友達といろいろな喫茶店にお茶を飲みに行っている。

お花が好き。

保育園で調理員をしていた。
料理が得意！



STEP2

本人の声の中で、「もう一度運動に行きたい！」という方の声に焦点を当て、但馬長寿の郷主催の研修の場で関係機関を参集し、本人の声を実現するためのアクションプランについて検討

【参集者】

- ・担当ケアマネジャー
- ・運動施設 体育指導員
- ・生活支援コーディネーター
- ・認知症疾患医療センター 精神保健福祉士(認知症地域支援推進員)
- ・委託地域包括支援センター 社会福祉士(認知症地域支援推進員)
- ・直営地域包括支援センター 社会福祉士(認知症地域支援推進員)
- ・直営地域包括支援センター 保健師(認知症地域支援推進員)

▼アクションプランの例

アクション	誰が	いつまでに
本人の思いの確認	ケアマネジャー	今月中
移動手段について本人と家族に確認	ケアマネジャー	○月までに
デマンド型乗合交通の情報収集	直営包括	○月までに
運動施設との情報共有	ケアマネジャー、運動施設	適宜

STEP3

アクションプランで決めた役割分担に沿って動く。

結果

ケアマネジャーが家族の思いも把握する、市のデマンド型乗合交通の確認などアクションプランに沿って動いていたが、諸事情で実現には至っていない。

- 最後に・・・
- 今回は本人の声の実現には至らなかったが、本人のやりたいことを把握し、関係機関で実現に向けて話し合うことで、それぞれの視点での話し合いができてよかった。
- 今回の研修での手法を活かして今後認知症本人の声を聴く機会を増やせるように関係機関の協力も得ながら仕組みを作っていきたいと思います。